

チャペル週報

No.4

2024.4.29～5.2

我々の神、主を畏れよう。

時に応じて雨を、秋の雨と春の雨を与える方

エレミヤ書 5章 24節



山川記念館（西宮聖和キャンパス）

関西学院宗教センター



チャペル・スケジュール

時間:西宮上ヶ原キャンパス・西宮聖和キャンパス 10:30~11:00 神戸三田キャンパス 10:40~11:10
場所:各学部チャペル(ランバスチャペルアワーは西宮上ヶ原キャンパスランバス記念礼拝堂)

4月29日(月)	神 人 建	全 容佑(神学研究科 M2年) 音楽チャペル 関西学院グリークラブ Eco-Habitat 関西学院
4月30日(火)	神 文 社 法 経 商 国 理・工・生環 総 教	土井 直彦(千里国際キャンパス宗教主事) 音楽チャペル 関西学院聖歌隊 音楽チャペル マンドリンクラブ 宗教総部 イースター(復活祭)を覚えて① 井上 智(宗教センター宗教主事) 加納 和寛(神学部教授) 音楽チャペル① 関西学院ウイメンズ・グリークラブ 前川 裕(宗教主事) 国際社会貢献活動報告 山本 健治(教育学部長)
5月1日(水)	神 社 法 商 人 国 理・工・生環 教	主の祈り③ 中道 基夫(院長、神学部教授) 大学とはどんなところか① Timothy O. Benedict(宣教師、社会学部准教授) Christian M. Hermansen(宣教師、法学部教授) 木原 桂二(宗教主事) 桜井 智恵子(人間福祉学部教授) 音楽チャペル② 関西学院グリークラブ 前川 裕(宗教主事) 栗山 誠(教育学部教授)
5月2日(木)	神 文 社 法 経 商 人 国 総 短大	吉澤 和海(神学研究科 M2年) 音楽チャペル マンドリンクラブ ボランティア活動支援センター 大宮 有博(宗教主事) イースター(復活祭)を覚えて② 舟木 讓(宗教主事) 西嶋 達人(商学部助教) 中野 陽子(人間福祉学部教授) Chapel in English 宮田 由紀夫(国際学部長) Eco-habitat 関西学院 讃美歌オリエンテーション 山内 信子(短大専任講師)

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:10~8:30 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

5月10日(金) レインボーウィークを前にして 澤田 有希子(人権教育研究室長)

Zoomでご参加希望の方は、宗教センター(shukyocenter@kwansei.ac.jp)へメールでお知らせください。

耳学問の効用

上村 敏之

大学院の指導教員であった故・山本栄一先生（本学経済学部名誉教授）に初めて出会ったのは、大学4年生のとき、もう30年も前だ。そこから6年もの間、先生と私は何日も何時間も対話をした。本当に多くの言葉を投げかけていただいたのだが、若かった当時の私は、その意味を理解できなかった。しかし、今になってようやく分かるようになった言葉がある。

そのなかに「耳学問」がある。いまの若い人たちには、あまり聞き慣れない言葉かもしれない。ある辞典によれば「自分で学んだり修得したのではなく、人から聞いた話や聞きかじった知識」とある。若い頃の私は、自分の関心がない話には興味を示さなかった。

しかし先生は、それは駄目だと言っていた。目の前でプレゼンをしている人がいて、その人の話を聞くことが大切なのだという。そのプレゼンターは、その人の貴重な時間を使って準備をしたわけで、自分がその内容を知ろうとするならば、その人がかけた以上の時間が必要になる。だからこそ、その人の話を聞くことで、自身の知識が効率的に増えるのだ、と言われていた。これが「耳学問の効用」だ。

知識増だけが「耳学問の効用」ではない。仕事の幅を広げるには、幅広い知識が必要になる。たとえば、「そういえば、こういう話を聞いたことがあります」と言えば、話し相手とのコミュニケーションがうまくいく。先生は、狭い世界に閉じこもるな、自分の可能性を広げるために、「耳学問」で広い世界への扉を常に開けておけ、と言われていたのだろう。そう解釈している。

私自身の経験として、ある知識は、まったく別の知識と、脳内で突然、つながることがある。一種のイノベーションだ。これが新しい分野へのチャレンジを産み出す。したがって、その話に関心があるとか、無いとか、最初に判断をすることが、そもそも間違っているのだ。いつか、化学反応が起こるかもしれない、だからこそ、いまの「耳学問」が大切なのである。

齢50歳を過ぎ、先生が言っていたことが、私なりに分かるようになってきた。そういえば、私が初めて先生に出会った当時の先生の年齢と、いまの私の年齢が合うようになったようだ。この歳になって、指導教員の言葉の意味が分かるようになるとは、まだまだ先生には教えられることが多い。

（経済学部教授）

●院長室から発信！ビデオメッセージ「風に思う」配信のご案内

関西学院の基盤となるキリスト教の言葉やシンボル、関西学院の精神について語るメッセージビデオです。キリスト教主義教育のエッセンスに触れるとともに、皆さまの心の糧としてご視聴ください。(月2回程度更新されます)



<https://ef.kwansei.ac.jp/about/kazeniomou> 「風に思う」関西学院 院長室からのメッセージ(HP)

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急大阪梅田駅から徒歩すぐ、アプロースタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の月1回チャペルアワーを実施しています。場所は1405教室です。どなたでもご自由にご参加ください。

5月9日(木)17:50~18:10 嶺重 淑(大学宗教主事)

●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスの正門に入って右手に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では、礼拝はもちろん、コンサートや式典、講演会、卒業生の結婚式などが行われています。4月から関学を代表する音楽団体による恒例のヌーンコンサートが開かれます。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

5月13日(月)関西学院ウィメンズ・グリークラブ

6月14日(金)関西学院大学混声合唱団エゴラド

6月24日(月)関西学院ハンドベルクワイア

7月1日(月)関西学院バロックアンサンブル

7月4日(木)関西学院聖歌隊

7月8日(月)関西学院交響楽団

いずれも12:45~13:15 <入場無料>

場 所:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス) 主 催:宗教センター・宗教音楽委員会

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第2・第4日曜日(原則)の10:00~11:00に関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っています。どなたでも(クリスチャンでなくとも)ご参加できますのでどうぞお越しください。

5月12日(日)10:00~11:00

●関西学院大学文化総部書道部「聖句展」

日 時:5月13日(月)~17日(金) 9:00(初日は10:30から)~17:00(最終日は15:00まで)

場 所:吉岡記念館ラウンジ

主 催:宗教センター

◆CD・DVDライブラリー利用について

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

◆使用済み切手収集にご協力ください

本学では「日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部」の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますので、どうぞ吉岡記念館事務室へお届けください。

<郵送先>

〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町1-155 関西学院吉岡記念館事務室宗教センター宛

◆盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆さまの温かいご協力をお願いいたします。